



# 令和の米おたく

庄内農業高校 農業部 稲作コース

## 庄内地域唯一の農業高校

鶴岡市藤島にある県立庄内農業高校は、明治34年に創立され、今年で120周年を迎える庄内地域唯一の農業高校である。本校には2つの学科があり、農作物の栽培や経営について学べる食料生産科と、農業の6次産業化に対応した食品製造・加工について学べる食品科学科がある。また、部活動にも力を入れており、農業高校ならではの農業部という部活動がある。農業部には稲作・野菜・花・加工・農業情報の5つのコースがあり、日頃の授業では取り上げられない専門的な内容を学ぶことができる。その中でも今回は、稲作コースに注目したい。

## 米おたくとは!?

農業部稲作コースには米作りに魅了された『米おたく』がいる。

さいとうれん

しだはると

齋藤蓮さん（写真右）と志田陽人さん（写真左）だ。二人が入部したきっかけは「新しい体験がしたい」「小学生の時にした田植えが楽しかったから」という理由から。部活動では、種子管理から播種、栽培管理、稲刈り、販売といった米作りに関わるすべての流れを実際に経験し学ぶことができる。農業経験があまりなく、慣れない作業をするのは大変だったと話す二人。自分たちで苦労して育てたお米を収穫し、食べた時はとても達成感があったという。部活動を通して農業の大変さを経験することで、お米ができるまでの苦労やお米の美味しさを若い人たちに伝えていきたいと話していた。

# 初代米おたく

に聞く!

農業部稲作コースの創設者  
の今野聡さん。当時の農業部  
は機械コースと畜産コースし  
かなかつたため、「農業高校な  
のだから米作りを深く学ぶ部  
活動があってもいいのではな  
いか」といった思いから先生に  
相談し創設した。部活動で学ん  
だ経験を活かし、高校卒業後は  
山形県立農林大学校に進学し、  
現在就農4年目の専業農家と  
して活躍中。



初代米おたく今野聡さん

## 農業部稲作コースのいちねん

部員2名 顧問2名



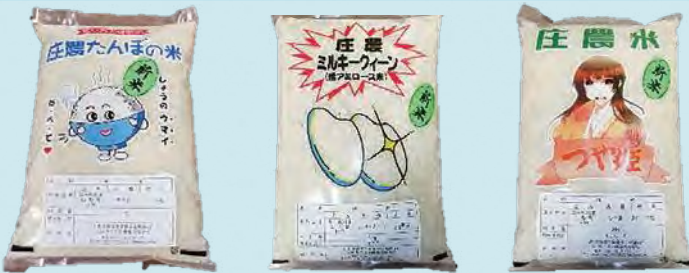
田植え



稲刈り



袋詰め



### 庄内農業高校のお米

生徒が生産したお米は販売実習を兼ね、学校祭などで販売しており、5割ほどは関東をはじめ県外へ出荷されている。パッケージのデザインは庄内農業高校の生徒が考えている。

2020年米の食味ランキングでは、庄内産は「はえぬき」A、「つや姫」特A、「雪若丸」特Aと好成績を残した。この成果には庄内農業高校で学んだ卒業生たちも農家として大きく貢献した。

※米の食味ランキング…(財)日本穀物検定協会が毎年実施している全国規模の食味官能試験。評価結果は「特A」～「B」の5段階で評価される。

お問い合わせ

山形県立庄内農業高校 所在地：山形県鶴岡市藤島字古楯跡 221 TEL：0235-64-2151